

# 松川浦のアサリ稚貝密度の推移

福島県水産資源研究所 資源増殖部

## 1 部門名

水産業－その他－アサリ

## 2 担当者名

守岡良晃

## 3 要旨

松川浦におけるアサリ資源の主体である 2013 年及び 2017 年級群の資源量が減少しており、資源を最大限利用するには、残存する資源に加え、漁獲加入前の資源量把握が不可欠である。2022 年の資源調査において、2021 年級群の 1 歳貝の個体数密度は比較的高い値であった。

2021 年級群が成長することで、アサリ資源量の増加が期待された。

- (1) 2022 年 6 月～8 月に松川浦の 6 地点で実施した資源調査では、2021 年級群の 1 歳貝個体数密度は 649 個体/m<sup>2</sup>で、卓越年級群であった 2017 年級群の 1,055 個体/m<sup>2</sup>、2013 年の 948 個体/m<sup>2</sup>には及ばないものの、比較的高い密度であった (図 1)。
- (2) 2021 年級群の 1 歳貝個体数密度を卓越年級群であった 2013 年級群、2017 年級群と調査地点毎に比較すると、川口前で低く、地島南では非常に低い値であった。十二本松では 2017 年級群よりも高い密度であった (図 2)。

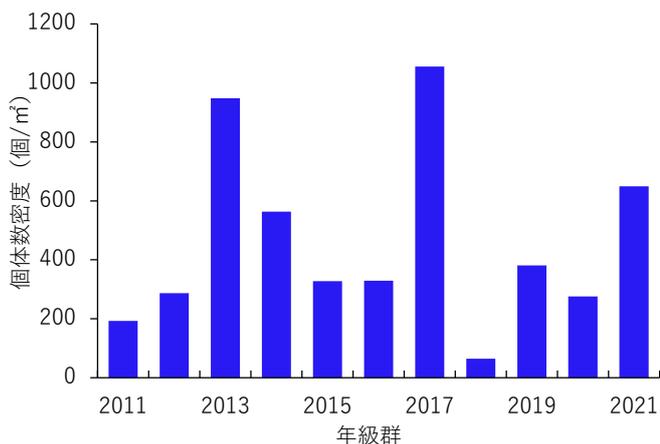


図 1 各年級群の 1 歳貝個体数密度

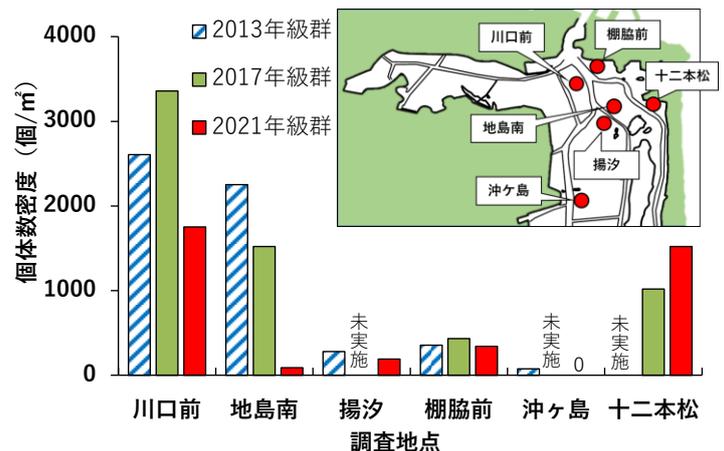


図 2 調査地点毎の 1 歳貝個体数密度

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和 3～7 年度
- (2) 研究課題名 松川浦の増養殖の安定化に関する研究

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 2021 年における松川浦のアサリ資源動向, 令和 3 年度参考となる成果